

令和6年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	11	氏名	佐野和彦 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1				公共工事と人材不足と財源と	<p>全国的に予算計上された公共工事の執行が滞っている。物価高騰の影響で財源が不足しているだけではなく、建設業の人材不足などで工事ができない深刻な状況が現われている。我が富士宮市でも物価高騰の影響や人件費の高騰の影響で予算の見直しや、工事事業者の人員不足で工事の遅延があることを聞いている。今後の対応策について以下伺う。</p> <p>(1) 富士宮市の公共工事全般について、現在の状況と傾向はどのようなものなのか。</p> <p>(2) 予算があっても翌年度への繰越しになることもある現状を市としてどのように感じ、対応策はどのように考えているか。</p> <p>(3) 令和5年度に主要幹線道路について富士宮市舗装維持管理計画を策定しているが、昨今の状況を鑑みると計画通りに進めることは可能なのか。また、計画の見直しなど行うこともありえるのか。</p> <p>(4) 現在進行中の道路建設に遅延が生じているのは予算不足だけでなく、工事事業者の人員不足による影響もあるようだが、特に北部地区や芝川地区において道路網の整備は喫緊の課題である。これからの展望を伺う。</p> <p>(5) 昨今の物価高騰や人件費の高騰は、予算要求時に反映されているのか。</p>	市長 副市長 教育長 関係部長
2				廃止が決まっている市営住宅の今後を考える	<p>富士宮市では、耐用年数が経過している市営住宅の粟倉住宅K棟、L棟及び大岩住宅の廃止が決まっているが、住民がいない大岩住宅においては空き家のように草などが生え、近隣住民の心配の種となっている。今後の展望について以下伺う。</p> <p>(1) 廃止が決まった市営住宅の管理は、地域が行うのか、行政が行うのか。</p> <p>(2) 行政が人員不足で手が回らない場合、地区や地域住民に手を借り予算化し、取壊しまでの間、管理してもらうことなど考えられないか。</p> <p>(3) 大岩住宅は住民もおらず空き家状態になっているが、取壊しは何年度から始まるのか。また、その後の土地の活用は考えているのか。</p> <p>(4) 廃止が決まっている粟倉住宅のK棟及びL棟の今後の展開はどうなっているのか。</p>	市長 副市長 教育長 関係部長
3				新型コロナワクチンの検証と後遺症に苦しむ市民の対応を考える	<p>全世界を恐怖のどん底に陥れた新型コロナウイルス感染症も4年の歳月が経過し、新型コロナウイルスも変異を重ねている。また、ワクチンが完成し無料接種も始まり、感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症になり現在に至るが、ワクチン接種が原因で亡くなった人や後遺症に苦しむ方々がいることを忘れてはいけない。世界を見てもWHOの方針に反対をしているWCH、日本でも超党派WCH議員連盟が国会議員主導で組織された。我が富士宮市ではワクチンによる後遺症患者を救済するために、どのような検証と対策をしていくのか、以下伺う。</p>	市長 副市長 教育長 病院長 関係部長

令和6年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	11	氏名	佐野和彦 議員	2/2
発言項目				要 旨		答弁者
				<p>(1) 先日の環境厚生委員会で市立病院長から、ワクチンの打ち初めの頃より後遺症を訴える人は少なくなっているとの話があったが、実感として何割くらい減少しているか。</p> <p>(2) 全国で過去のワクチン接種によって超過死亡者が増えているとのことだが、我が富士宮市でも検証作業は行われているか。</p> <p>(3) 昨今、物議を醸しているレプリコンワクチンだが、富士宮市での定期接種で採用しているワクチンの種類はどのくらいあるのか。また、レプリコンワクチンは採用されるのか。</p>		